

佐渡米通信

こめ〜る

2020年 02月号

発行日:2020年2月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部米穀販売課 藤巻
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

今年も佐渡米カレンダーが出来ました

令和2年産の高品質米づくりの為に、「環境にやさしい佐渡米づくり」カレンダーが、生産者約2,900名に配られました。今年佐渡米カレンダーの特徴は、昨年経験した猛暑の対策と地域ごとの土壌診断結果を基に作成した土づくりマップが一新して掲載されたことです。また、実際に島内の生きもの調査で生産者が見つけた「田んぼの生きもの写真」が表紙に採用されました。ドジョウなどの水中にいる生きものからトキ、アオサギなど鳥類まで、佐渡固有種であるサダガエルも含めて42種類の写真が並び、生きもの調査を行う際に使用できるようになったと生産者からは好評です。



恋の季節のカラーは…

現在、首のあたりが灰色になったトキが多く見かけられます。これは、繁殖期を迎えたトキの証で、この時期になると首のまわりが黒ずみ水浴びの時に羽にこすりつけて色を広げます。まだまだ気温が低く雪が降る季節、鮮やかな色ではありませんがこの灰色になったトキを見ると、もうすぐ“春=恋の季節”のように感じられて、なんだかウキウキした気持ちになります。



より良い米づくりの為の意見交換ができました

年末、令和元年度自然栽培研究会の通常総会が開催されました。会員20名が出席した中、各生産者が取り組んでいる除草対策や害虫被害に遭わない為の工夫を出し合い、その効果を確認しました。またJAからは、元年度の品質結果や販売計画が報告されました。「現在は米だけの取り組みとなっていますが、2年度は野菜や果物の自然栽培についても研究・実践しましょう」と意見が出され、出席者は夜遅くまで熱い胸の内を語り合いました。



令和2年の初セリ!

新年初市式が開催され、島内各地から生産された野菜・果物がセリにかけられました。新年の挨拶や来賓の祝辞のあと、買参人代表者による木遣りと宝船のセリが行われ、先ずは果物のセリが行われました。佐渡の初市では、「リンゴ」「みかん」「いちご」といった、他の産地では一緒に並ぶことの無い果物が勢揃いします。今年は特に「みかん」の出来が良く、酸味とコクがありおいしいとの評価で、高値で取引されました。



みかんが採れる最北端に佐渡は位置しています。最近ではその食味が評価され、島内だけでなく島外や県外にも流通するようになってきました。

